

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 2月号

2023年2月7日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

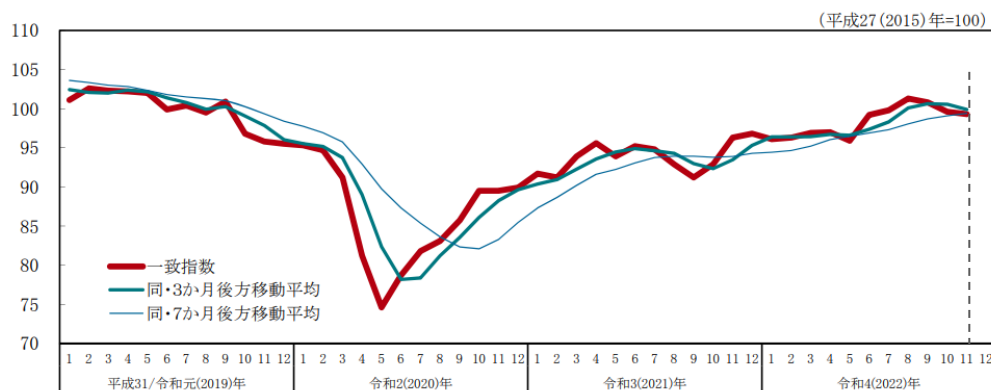
#### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 4 (2022) 年11月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年1月25日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202211rsummary.pdf>

- ① 11月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、  
先行指数：97.4、一致指数：99.3、遅行指数：99.8
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。

	11月分 C I (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	97.6	97.4
一致指数	99.1	99.3
遅行指数	100.9	99.8

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 4 (2022) 年11月分 (速報) (令和5年1月11日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202211psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202211report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（1月）（内閣府、令和5年1月25日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/01kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【下方修正】

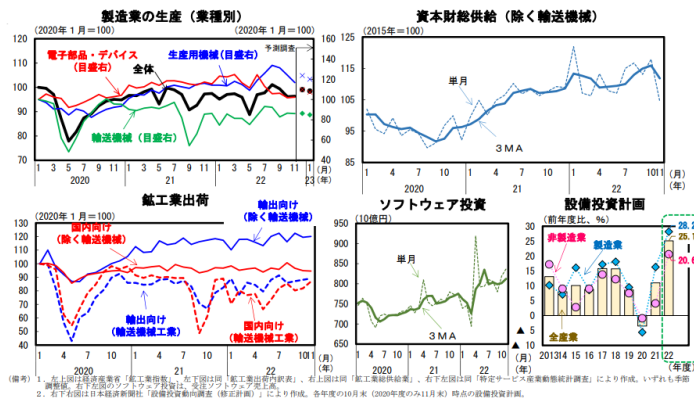
- ・ 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

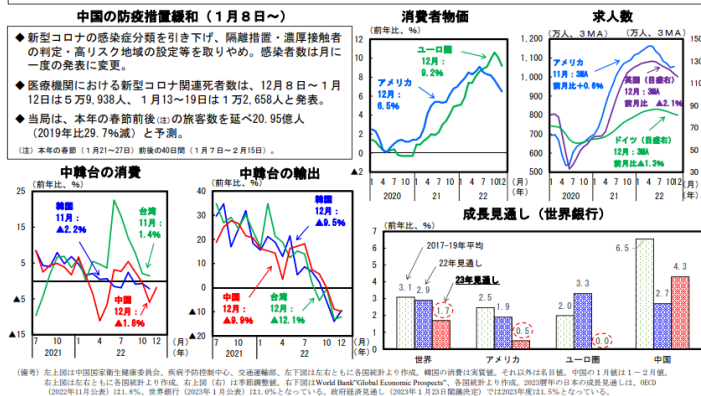
#### 今月の指標(3) 生産と設備投資の動向

- ▶ 生産は、輸送機械に持ち直しの動きがみられる一方、生産用機械（半導体製造装置等）の増勢が鈍化するなど、総じてみると持ち直しの動きに足踏み。需要先を鉱工業出荷でみると、輸送機械工業は供給制約の影響で回復が遅れており、その他業種の輸出向けの出荷が生産の増加に寄与。
- ▶ 投資は、足下で、資本財総供給の持ち直しの動きに足踏みがみられるが、ソフトウェア投資は引き続き緩やかに増加。企業による設備投資計画によると、設備投資意欲は引き続き強い。



#### 今月の指標(4) 世界経済の動向

- ▶ 中国では感染再拡大の影響により消費の弱さが続く中で輸出も減少し、景気はこのところ弱さがみられる。こうした影響を受けやすい韓国、台湾では、世界的な半導体需要の鈍化もあり、景気は弱い動き。
- ▶ 欧米では、消費者物価上昇率は総じて高いものの、エネルギー価格等の下落を受け、アメリカに続きユーロ圏でも一服感。雇用面では、求人数はこのところ緩やかに低下。
- ▶ 2023年の世界経済は、1月公表の世界銀行の見通しでは先進国を中心に減速が見込まれている。今後も世界的な金融引締めに伴う影響、中国における感染拡大、物価上昇等による下振れリスクの高まりに留意。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和5年1月）」(pdf) : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/0125getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

## ■ 設備投資 令和4年11月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年1月18日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

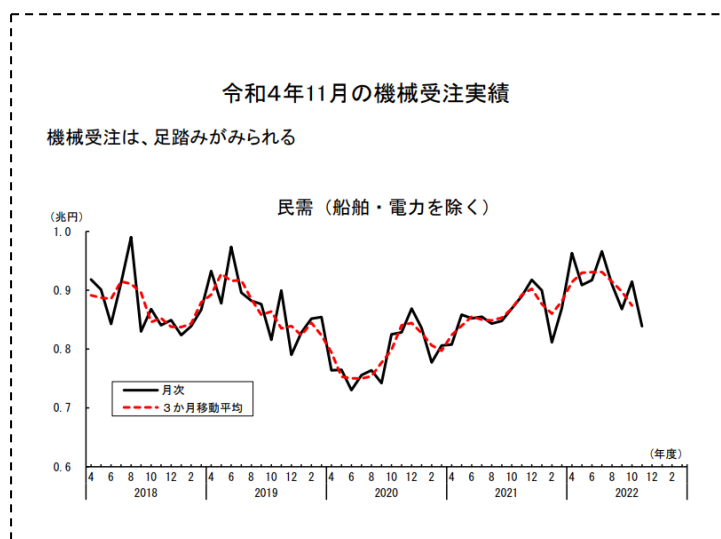
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2211juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022（令和4）年10月前月比3.3%増の後、11月は同1.0%減の2兆6,554億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比0.7%減の9,719億円、官公需は同8.8%減の2,456億円、  
外需は同2.0%減の1兆2,731億円、代理店は同1.2%増の1,195億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022（令和4）年10月前月比5.4%増の後、11月は同8.3%減の8,388億円となった。  
このうち、製造業は同9.3%減の3,860億円、非製造業（除く船舶・電力）は同3.0%減の4,698億円となった。

(以下図表は「令和4年11月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2211gaiyou.pdf>



対 前 月 ( 期 ) 比 (単位:%)

需要者	期・月	2021年 (令和3年) 10-12月 実績	2022年 (令和4年) 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	2022年 (令和4年) 8月 実績	9月 実績	10月 実績	11月 実績
	受注総額		9.0	△9.7	21.0	△11.8	11.5	△9.5	△3.3	3.3
民需		14.1	△13.9	14.3	△2.1	2.6	△5.0	△9.0	△0.2	△0.7
〃(船舶・電力を除く)		5.1	△3.6	8.1	△1.6	3.6	△5.8	△4.6	5.4	△8.3
製造業		3.1	0.8	9.1	△2.0	2.9	10.2	△8.5	△6.4	△9.3
非製造業(除船・電)		6.8	△8.1	7.6	△1.4	4.6	△21.4	4.4	14.0	△3.0
官公需		3.6	△2.8	7.0	△12.3	30.7	29.4	△7.6	2.8	△8.8
外需		1.7	△6.6	31.4	△16.5	16.5	△18.9	6.3	0.2	△2.0
代理店		1.4	△11.3	11.7	△2.9	7.6	4.9	2.2	△3.6	1.2
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均		-	-	-	-	-	△1.8	△1.9	△2.6	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
2. △印は減少を示す。  
3. 見通しは2022年9月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年1月31日発表)

【2022年12月分】鉱工業指数の動向 (速報) より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202212sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202212sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202212sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202212sj.html)

### － 生産は弱含み －

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、1月は横ばい、2月は上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は弱含んでいる。

#### ・生産は、前月比-0.1%の低下。

低下業種： 汎用・業務用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、  
電気・情報通信機械工業等

上昇業種： 輸送機械工業 (除、自動車工業)、自動車工業、生産用機械工業等

#### ・出荷は、前月比-0.7%の低下。

低下業種： 汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業、  
石油・石炭製品工業等

上昇業種： 自動車工業、輸送機械工業 (除、自動車工業)、生産用機械工業等

#### ・在庫は、前月比-0.5%の低下。

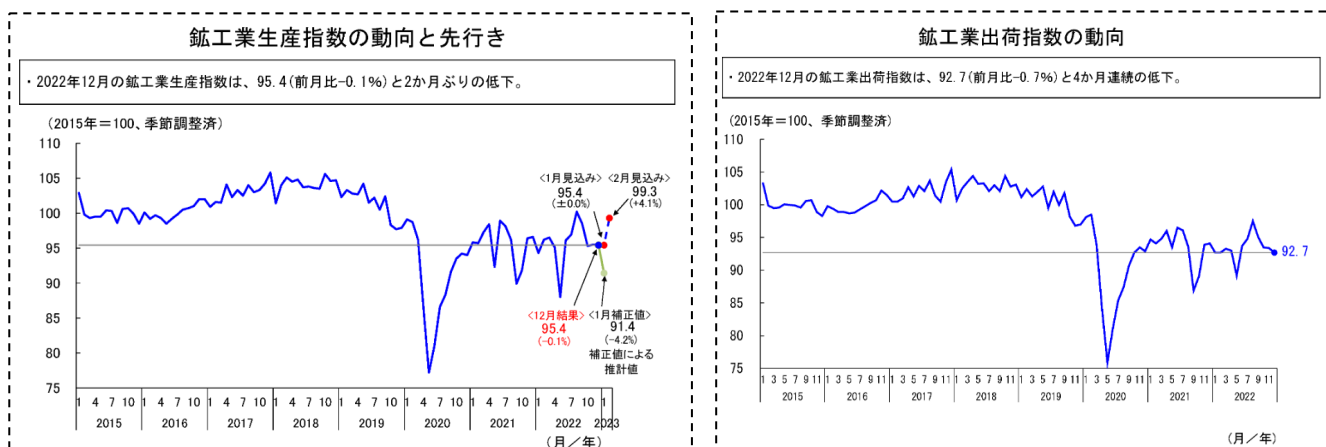
低下業種： 自動車工業、鉄鋼・非鉄金属工業、生産用機械工業等

上昇業種： 金属製品工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業・医薬品)、  
電子部品・デバイス工業等

### 12月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230131\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230131_1.html)

(解説) 12月の鉱工業生産は、汎用・業務用機械工業を始めとして多くの業種が低下したことから、全体として前月比マイナス0.1%と、2か月ぶりの低下。基調判断は、「弱含み」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数 (最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年1月31日発表より抜粋)

#### 【2022年11月動向概況】

- ・ 2022年11月のグローバル出荷額は  
3,832億円、前年比97.3%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は  
受動部品 (前年比95.6% 1,780億円)、接続部品 (同103.3% 928億円)、  
変換部品 (同93.7% 651億円)、その他の電子部品 (同97.9% 471億円) となった。
- ・ 地域別出荷は  
日本 (前年比89.4% 785億円)、米州 (同120.2% 431億円)、  
欧州 (同110.4% 397億円)、中国 (同89.9% 1,324億円)、  
アジア・その他 (同103.3% 889億円) となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2023.01.31発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	9月		10月		11月		4月-11月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	4,217	114	3,971	112	3,832	97	30,296	106
(日本)	836	106	815	106	785	89	6,053	99
品目別	1,952	110	1,806	105	1,780	95	14,466	104
受動部品	1,371	108	1,258	103	1,248	93	10,207	103
コンデンサ	186	121	177	115	175	111	1,387	113
抵抗器	47	141	48	138	52	130	369	129
トランス	310	112	284	110	267	93	2,174	101
インダクタ	36	91	37	85	36	78	327	99
その他	1,017	117	998	122	928	103	7,437	111
接続部品	393	121	379	121	379	109	2,806	110
スイッチ	620	115	615	122	544	99	4,602	112
コネクタ	3	96	4	147	4	149	28	118
その他	737	120	701	127	651	93	4,816	113
変換部品	29	103	24	102	21	74	191	87
音響部品	216	92	211	98	204	91	1,662	94
センサ	490	139	465	148	426	96	2,962	131
アクチュエータ	510	112	465	104	471	97	3,575	95
その他の電子部品	270	153	246	141	256	143	1,781	123
電源部品	240	85	218	81	215	71	1,793	78
高周波部品								

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	8月		9月		10月		4月-10月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,893	109	4,217	114	3,971	112	26,463	107
日本	754	108	836	106	815	106	5,268	101
米州	480	137	459	137	463	140	3,084	131
欧州	361	122	423	124	392	125	2,608	115
中国	1,414	100	1,554	111	1,392	109	9,548	101
アジア他	877	109	934	112	899	107	5,922	111

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上